

# 西表島の文化への強い思い

## 石垣金星さん遺稿集、発刊へ

西表島で島おし運動をリードし、2009年6月30日死去した石垣金星さん(享年76)の遺稿集「西表島の文化力」金星さんから地球人へのメッセージ」が近く発刊される。一連の著作をトータルに読むことで、いったん島を出た金星さんが島の文化を「発見」し、どっぷりとハマっていくプロセスを知ることができる。島を訪れる調査者や取材者に向けた厳しさにあふれる提言も再録した。

金星さん(死後)の同「ベース」でも金星さんの業年11月、第38回八重山毎日文化賞特別賞を授与された。

妻の昭子さんの発案をきっかけに、山口県立大学の安溪遊地名義教授らが呼びかけ、金星さんと親交のあった人たちが編集に当たった。金星さんが1985年に結成した「西表をはりおす会」のメンバーらは、ウエブサイトの「西表島の地名と生物文化」や「西表島」を呼ばれるだけ」と語つた。

**西表島の文化力**  
金星さんから地球人へのメッセージ  
石垣金星さん遺稿集

「文化力のある島は滅びない」  
石垣金星さん遺稿集

目録 191〜202 西表島を語る

第一章 自然と文化を守る  
第二章 西表をほり・おこす  
第三章 地球人へのメッセージ

著者 石垣金星 (1947〜2009)  
編集 石垣昭子 (1950〜)  
発行 2023年6月  
発行所 石垣金星さん遺稿集編集委員会  
発行部数 1,500部(税込)

お問い合わせ先 石垣金星さん遺稿集編集委員会  
〒901-8501 石垣市西表 1-1-1 西表島民センター 2F  
TEL 098-427-4221 FAX 098-427-3383  
E-MAIL info@iriomote-island.com

第4章「西表島を訪れるみなさまへ」では、島で行った調査の結果を島に還元しようとする研究者を「研究」に名を借りた単なるドロブウ、メタメディアに対しては「本島の調査と取材は10

### 台湾とのかわりも探究 共通点を意識 先住民と交流

石垣金星さんは、西表島を復活させようとして、起原に台湾とのかわりも探究してきたことでも知られる。遺稿集「西表島の文化力」のなかで、金星さんは西表島の自然について「台湾の中部と緯度を同じくする西表島は東南アジアの島々とながら、その植生は亜熱帯に属しながら熱帯性植物の北限でもある」と、台湾との共通点を意識しながら島の自然を特徴付けている。

織物の分野では、1997年、台湾の先住民(原住民族)の調査やシンポジウムに妻の昭子さんとともに参加。先住民のひとつ、タイヤル族の女性が教員を辞めて伝統的織物

年20年30年と通い、島の人が通いあつて、そ初めて『許される』と厳しく指摘し、心構えを説く。宇多良炭坑跡に2010年に建立した萬骨碑で、西表島沖に墜落した米機ラマンをめぐる遺骨収集を

多彩な業績の中でも輝いて「と位置付ける2006年の著書『西表民謡誌と工四』からは序文を転載。金星さんは「守られ、自然に向き合う中から豊かな自然の恵みを受ける

西表島で使われているイノシシのわなは台湾のものが持ち込んだものが原形と言われ、金星さんは、2007年12月に祖納で開かれた第2回カマイサミット・イン西表で、わなの仕組みを説明するなしている。同サミットには、台湾から先住民のひとつ、パイワン族の領袖、サキヌさんが参加し、情報交換を行った。同書ではサミットに参加した時の写真を収録している。

知恵」と総括している。南山舎から発行。30日西表で開かれる一周忌の法事で配布するほか、販売は、大原港売店、上原港売店、西表島エコツーリズム協会、山田書店、ブックスキップはん・やい書店、TSUTAYA石垣店で予定している。南山舎のオンラインショップ「島のもの」でも販売する。1650円。24日から次のサイトで先行頒布する。http://www.irioto.jp/exhibitions/06/06.html (松田良孝通信員)



第2回カマイサミット・イン西表で、台湾のパイワン族の領袖、サキヌさん(右端)と登壇した石垣金星さん(左端) 2007年12月15日